

長崎商 準優勝

佐賀女に逆転サヨナラ負け

ソフトボールの第56回
九州高校女子選手権は
14、15日、大分県竹田市
総合運動公園で行われ、

長崎県勢は長崎商が決勝
で佐賀女に4-5で惜敗
したが、準優勝を果たし

了。長崎商—佐賀女は、長
崎商が初回に黒川の中越
え適時一塁打などで2点
を先行。二回に佐賀女に
追いつかれた後も、三回
に松尾の中前2点打で2
点を勝ち越したが、七回
に与四球をきっかけに3
安打で3点を奪われ、逆
転サヨナラ負けした。

長崎商はこのほか、九州
文化学園が1回戦で福岡
大若葉に0-1で敗れ
転サヨナラ負けした。

長崎商はこのほか、九州
文化学園が1回戦で福岡
大若葉に0-1で敗れ
転サヨナラ負けした。

準優勝した長崎商



県高総体前に貴重な経験

○…3月の全国選抜大会王者の佐賀女に逆転サヨナラ負けした長崎商。悔しい準優勝になつたが、同大会出場を逃していたチームが日本一のチームと互角の戦いを演じた。溝口監督は「課題は残るが十分な経験。県高校総体はしっかりと勝ちきれるように、自分たちで持つていかないと」と収穫を挙げた。

初回に黒川が先制一轟打、2-2の三回に松尾が勝ち越し打と先手を取つて試合を進めた。4-2の七回に3失

点と最後は佐賀女の地力に屈したもの、溝口監督は元投した右腕後田について「制球がだいぶ良くなつて、自覚も出てきた」と一定評価した。

インターハイで上位を狙える力を示したが、その前に県内でハイレベルな予選が待つ。主将の松尾は「厳しい戦いは覚悟している。あと少し頑張れば日本一も夢じゃないと感じた今回の結果をいい方向に捉えて、そのあと少しを語りたい」と意気込んでいた。

(石田慶介)

ス②

△準決勝
長崎商5-0大分南
△決勝
佐賀女5-4長崎商

△準々決勝
長崎商2-1白南学園
△1回戦
福岡大若葉1-0九州文化学園
長崎商7-3北九州市立
△長崎県関係
(福岡)
(宮崎)

ス③平イ

T志岩

肥③見

薫リa

ジ春

会31

ジブ

ル

一杯

平浜江脇内 広会回